

作曲家・  
ピアニスト

加藤昌則の

クラシック  
ギモン解明!  
入門講座

# 作曲 解体新書

ゲスト  
河野 紘子  
(ピアニスト)

第3回 フーガ

第2回 ソナタ

第1回 ヴァリエーション

全3回

開講14:00  
(開場13:30)

7/8日 8/18土 9/8土

開国時のヤマト魂が、クラシック音楽のとびらを開いた！  
作曲家・加藤昌則の新クラシック講座『西洋音楽★解体新書』  
この度学ぶは、クラシック音楽定番の「型」3つ！  
これで、あなたのクラシック音楽魂も燃え上がる?!



会場:レザンホール中ホール 受講料:全3回通し券 3,000円(税込)※一回の聴講は1,200円(税込) 全席自由 講座受付:5月12日(土)~

チケットのお求め・お問い合わせは レザンホール ☎399-0738 塩尻市大門七番町4-8

Raisin Hall

TEL 0263-53-5503

URL <http://www.raisin.or.jp/>

主催 (一財)塩尻市文化振興事業団

FAX 0263-54-1103

MAIL [raisin\\_info@raisin.or.jp](mailto:raisin_info@raisin.or.jp)

後援 塩尻市/塩尻市教育委員会

# 先人の文化人たちが必死に訳した音楽様式の解体新書を、 当時の日本人の驚きや興味に照らし合わせてご紹介

「そりゃあもぉ～、ぶったまげた!

でっかい大砲積んだ船がたくさんやってきて、遠くからぎょうさんタマが飛んできたのさ。こっちらも打って返すが全く届きゃあしない、異国の奴らはスケールが違ったのさあ」

こう言ったかは知りませんが、日本の開国前、薩摩武士達は攻めてきたイギリスの軍団に圧倒され、開国の必要性を痛感したと言います。

この時、イギリス軍にも死者が出て、その甲いを陸地でやらせた時、厳肅な雰囲気の中で奏でられた国歌を聴いた薩摩武士達は、それがなんだかわからない。日本には国の歌がないのか!?との英人さんの問いに「国の歌ば作らねばいかん」と紆余曲折を経てできたのが「君が代」でした。

維新の後、西欧の文化を学ばねばと多くの優秀な日本人が異国へと渡りました。

瀧廉太郎もその一人。

短い留学に関わらず彼が最後に書いたピアノ曲は、メンデルスゾーンに匹敵するような驚くべき音楽だったのです。だってそれまでチントンシャンしかなかったんですよ!

ヨーロッパでは1000年の時を経て到達したその当時の音楽に、日本のその青年はあっという間に追いついてしまった。相当な執念でしょうね。

実はヨーロッパの音楽は様式とか形式とか、構成のようなものを重んじます。彼らがあっという間に西欧のエッセンスを吸収できたのは、そのいわば「カタチ」を知ることが重要であることを知って、勉強したからでした。

130年ほど前の日本人が学んできた事を、名ガイド・加藤がわかりやすく説明しますよ。当時の人々の驚きと努力を体験しながら、鑑賞の面白みが一気に変わってしまうようなそんな様式を、今回は3つ取り上げてご紹介したいと思います。薩摩の武士さんにも聞かせてあげたかった。(笑)

(加藤昌則)

講師

加藤 昌則 カトウ マサノリ



作曲家・ピアニスト。東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作曲のみならず、独自の視点、切り口で企画する公演や講座等のプロデュース力にも注目を集める。最新CDは17年10月発売「PIANO COLOURS」(エイベックス・クラシックス)。2016年4月よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」パーソナリティーを担当。

ホームページ <http://www.masanori-music.com/>

公式Facebook <https://www.facebook.com/masanorikato02/>



写真提供:栄区民文化センター リリス

## Program

第1回 7/8 日

### ヴァリエーション(変奏曲)

- モーツァルトの時代にもアドリブはあった!?
- 人々のエンターテインメント、変奏曲
- やっちゃいますか!あなたも変奏芸

第2回 8/18 土

### ソナタ(奏鳴曲)

- ソナタは作曲家の必須条件!?
- ソナタが人々を虜にする理由
- 優等生、革命児、劣等生!?  
いろんな作曲家を見比べてみましょう

第3回 9/8 土

### フーガ(遁走曲)

- バッハから引き継がれる高等作曲技法
- 複雑緻密、見れば見るほど深まるフーガの面白み
- モーツァルト、ベートーヴェンなど大作作曲家のお手並みもご紹介

## 第3回ゲスト 河野 紘子 コウノ ヒロコ (ピアニスト)



札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て同大学研究科を修了。高校、大学ピアノ卒業演奏会に出演。これまでに「東京・春・音楽祭」や「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパン」などの音楽祭に出演。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」やBS-TBS「日本名曲アルバム」などメディアでの露出も多数。桐朋学園大学声楽科嘱託演奏員、現在は二期会研修所ピアニスト、NHKカルチャーセンター青山教室講師を務める。

声楽、器楽などでのアンサンブルや透明感のある美しい音色に定評があり共演者から信頼も厚くCD録音にも多く参加している。また、フジテレビで放映されたドラマ「のだめカンタービレ」の主人公(上野樹里)の手・音の吹き替え、現場での指導を担当するなど、多方面へ活動の幅を広げている。

ホームページ <http://www.hirokokohono.com>